

「（仮称）奈良県ユーラシア研究センター発行情報誌」制作業務委託 仕 様 書

1. 業務名

「（仮称）奈良県ユーラシア研究センター発行情報誌」制作業務

2. 業務概要

奈良県とユーラシアの歴史的交流を踏まえて、その連携と交流の推進に資するため、（仮称）奈良県ユーラシア研究センターにおける調査研究活動によって得られた成果について広く情報発信を行うことを目的に、情報誌（以下「本誌」）を制作する。

3. 規格等

(1) 名称 : (仮称) Euro NARA sia-Q^{×2} (読み: ゆーろ・ならじあ・きゅー)

(2) 内容 : 近代史、思想史、宗教等のテーマを扱う。

- ①有識者、研究者等のインタビュー記事
- ②研究会成果報告記事
- ③有識者、研究者等の寄稿記事、連載記事
- ④人物紹介記事、トピックス記事
- ⑤奈良関連紹介記事

本誌の全体構成については別紙付属資料のとおりとする。

(3) 発行時期 : 10月下旬、12月下旬、2月中旬、3月下旬 計4回発行予定

(4) 総ページ数: 本文 64 ページ (表紙除く、カラー16 ページ・白黒 48 ページ)
表紙カラー4 ページ

(5) サイズ : B 5

(6) 紙質 : 表紙 マットカード、本文 コスモエアライト 同等品以上

(7) 製本 : 無線綴じ 同等以上

(8) 部数 : 各 10,000 部 (1 回につき)

(9) 配布先 : 各省庁、各都道府県、国・県会議員、県内市町村、主な図書館、大学等、各メディア、地方政府会議会員 (国外を含む) 及び関係大使館、フォーラム一般参加者 その他

(10) その他 : 図版多数収録、英語サマリー付

4. 業務の内容

(1) デザイン・レイアウト作業

- ・本誌の台割及び原稿や画像等の大まかな配置を示したラフレイアウトにもとづき、DTP作業をともなう本文及び表紙のデザイン・レイアウトを行うこと。
(文字原稿、写真、図版等の画像、タイトル等のレイアウト及び書体、色等のデザイン 等)
- ・「NRASIA Q (平成 23 年度～25 年度奈良県発行)」を参考とし、継続性及び整合性に留意すること。
- ・大学との複数回の協議を実施し、デザイン・レイアウトを決定すること。打ち合わせ協議回数は指定されないこととし、PDFデータ及び紙見本を提出すること。
- ・本誌の制作趣旨及び各テーマ内容をふまえたデザイン・レイアウトを行うこと。
- ・なお、台割、ラフレイアウト、画像等は大学が支給することとし、詳細は5. 支給データのとおりとす。

(2) 校正

- ・1回以上の文字校正、1回以上の色校正作業を行うこと。
- ・本作業の文字校正の対象は、誤字・脱字の確認等の簡易なものとする。
- ・本作業にあたって不明確な事項がある場合は、その都度大学に対応を協議すること。

(3) 印刷・製本

- ・本業務には印刷の質及び数量の確認業務を含む。

(4) 納品

- ・納品確認を含む。

(5) 全体進捗管理

- ・本件の委託業務には、上記業務の進捗を個々に把握する業務のほか、全体の進捗を管理するとともに、適宜大学に報告する業務を含む。

5. 支給データ

大学が本誌作成にあたり、受託者に支給するデータは下記のとおりとする。

(1) 全体構成、台割 (各号)

- ・ページ構成、及び各ページのテーマ及び内容等について示す。

(2) 文字原稿

- ・タイトル、見出し等を含む。

(3) 写真、図版等の画像未加工データ

(4) ラフレイアウト

- ・本文及び表紙の上記(2)(3)について大まかなレイアウトを行ったもの。
- ・なお、各テーマごとのページ数、段数を指定するものとする。
- ・DTP未作業のMicrosoft Wordデータで支給する。

6. 納品物

(1) 制作した本誌（大学が納品を指示した部数）

(2) 事業完了報告書

※精算実績については、すべて証拠書類を整備、保管を行い、大学からの求めに応じて、提出すること。

7. 納期

第1号：平成27年10月30日

なお、第2号～4号の納期については、別途協議の上決定することとする。

8. 納品場所

公立大学法人奈良県立大学（奈良市船橋町10番地）

9. 留意事項

(1) 本業務にあたる受託者は、下記の内容に留意し業務を遂行すること。

- ・業務期間はもとより、業務期間終了後も、本業務で知り得た機密・個人情報の取り扱いについては別記「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。
- ・受託者は、本業務の実施に必要な物的設備及び人的環境等については、各種関係法令に違反することのないよう留意すること。また、是正すべき事が生じた場合には速やかに大学に報告するとともに、その指示を受け是正すること。
- ・やむを得ない事情により、提出書類に記載した業務受託体制に変更が生じた場合は、事前に大学の承諾を得ること。
- ・受託者が本業務のために作成した各種資料等の著作権、著作権は、大学に引き渡した時点で、大学へ譲渡するものとする。

(2) その他

- ・精算実績については、すべて証拠書類の整備、保管を行い、大学からの求めに応じて、提出すること。
- ・本仕様書に記載されていないもの、又は不測の事態への対応については、大学と協議の上決定する。

別記

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないように、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、また同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、この契約による事務を行うために個人情報を収集するときは、当該事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(目的外利用・提供の禁止)

第4 乙は、甲の指示がある場合を除き、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的に利用し、又は甲の承諾なしに第三者に提供してはならない。

(漏えい、滅失及びき損の防止)

第5 乙は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(従事者の監督)

第6 乙は、この契約による事務を処理するために取り扱う個人情報の適切な管理が図られるように、従事者に対して必要かつ適切な監督を行わなければならない。

2 乙は、この契約による事務に従事している者に対し、在職中及び退職後においても当該契約による事務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと、個人情報の違法な利用及び提供に対して罰則が適用される可能性があることその他個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

(複写又は複製の禁止)

第7 乙は、この契約による事務を処理するために甲から引き渡された個人情報が記録された資料等を甲の承諾なしに複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第8 乙は、甲が承諾した場合を除き、この契約による事務については自ら行い、第三者にその取扱いを委託してはならない。

(資料等の返還等)

第9 乙は、この契約による事務を処理するために、甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の完了後、直ちに、甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときは、当該指示に従うものとする。

(取扱状況についての指示等)

第10 甲は、必要があると認めるときは、随時、個人情報の取扱状況について、乙に対して、必要な指示を行い、若しくは報告若しくは資料の提出を求め、又は調査をすることができる。この場合において、乙は、拒んではならない。

(事故発生時における報告)

第11 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれのあることを知ったときは、速やかに、甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(損害賠償等)

第12 乙は、その責めに帰すべき事由により、この契約による事務の処理に関し、甲又は第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。再委託先の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えたときも、また同様とする。

2 甲は、乙がこの個人情報取扱特記事項の内容に反していると認めるときは、契約の解除又は損害賠償の請求をすることができるものとする。

以 上

別紙

「(仮称) 奈良県ユーラシア研究センター発行情報誌」

全体構成

ページ番号 (枚数)	ページ構成項目	テーマ・内容
—	表紙 1	
—	表紙 2	上段：英語目次／下段：発刊挨拶
p. 1 (1)	目次	目次
p. 2～p. 5 (4)	巻頭インタビュー記事	有識者、研究者等の本誌コンセプトへの意見
p. 6～p. 13 (8)	特集：研究会成果報告記事 1	近現代研究会における総括ディスカッション
p. 14～p. 41 (28)	研究会成果報告記事 2	近現代研究会における個別報告
p. 42～p. 47 (6)	寄稿記事	有識者、研究者による近現代史探求に関する論考
p. 48～p. 53 (6)	連載記事 1	思想をテーマに複数専門家によるリレー論考
p. 54～p. 59 (6)	連載記事 2	宗教をテーマに専門家による論考
p. 60～p. 61 (2)	人物紹介記事	各号の主な登場人物の紹介
p. 62～p. 63 (2)	トピックス記事	ユーラシア、奈良県等に関するトピックスの紹介
p. 64 (1)	奈良関連紹介記事	奈良における文化の原産地紹介
—	表紙 3	
—	表紙 4	

※なお、構成については実際に作業を行うまでに変更する場合があります。